

第1回 砂川市部活動の地域移行検討協議会 会議記録

○日 時 令和7年9月29日(月) 18:00～18:44 (所要時間＝44分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委 員】 12名

【教育委員会】 8名

【事務局】 4名

○傍聴者 1名

○議事記録

1. 開 会

2. 委嘱書交付

3. 挨拶 教育委員会教育長

4. 報告事項及び概要説明

①各部活動における地域移行実証事業等進捗状況及び情報共有について

②地域移行から地域展開への名称等変更に係る概要について

【議事の内容(要旨)】

事務局

①各部活動における地域移行実証事業等進捗状況及び情報共有について

資料1をご覧ください。1枚目は令和7年度4月入部受付期間終了時における各部活動の所属状況になります。こちらの結果として、新1年生は科学部を除いて、各部5人以上の入部があった結果となり、特に女子バレー部は12名入部、バドミントン部は特に多く男子17名、女子15名の計32名入部、バスケット部は男子10名、女子3名の計13名の入部と人気の部活動となっています。

続きまして、通常は学校に部活動が無く、中体連に出場する際のみ中学校として出場する可能性のある部を網掛けとしておりますが、令和6年度まで在籍のあった水泳・スキーのクラブチームに所属している生徒はおらず、剣道は錬心館になりますが、1・2年生で計8名所属している状況となっています。

学校全体では、いずれかの校内部活動に所属している生徒が79%となり、特に1年生では93.6%がいずれかに所属している結果となり、ほとんどの生徒が部活動に所属している結果となりました。

続きまして、次のページをご覧ください。

こちらは、令和7年度9月現在の各部活動の地域移行実証事業などの進捗状況を簡単にまとめたものになります。

それでは、各部活動の状況について、ご説明します。

始めに、野球部は現在実証事業を行っていません。昨年、委員の紹介で地域移行の受け皿に名乗り出ていただいた指導者がいらっしゃいましたが、野球部は令和6年度末の時点で1年生が3名、これは令和7年度における2年生となり、令和7年度の中体連を終え、3年生が部を卒業した後は9名を下回る可能性があったことから、令和6年度末に保護者が2回開かれました。結果として中体連までは地域指導者にお願いすることなく、「これまで同様に野球部として活動したい」との意向で活動してきました。ただし、令和7年度中体連終了時点で9名を下回る可能性が高いことから、令和8年度以降の部員募集停止として一度決定していました。

募集停止をするに当たっては中学校の部活動の創部・廃部の規定に基づいて決定していたことは基より、先述のとおり、地域に受け皿となる団体があったことから決定していたものです。しかしながら、令和7年度の新1年生が6名入部し、9名を上回ったことから、現在も野球部として活動し、休部・廃部に関しても一旦白紙となったところです。ただし、依然として9名であり、中学校の部活動の規定の中で9名を下回った時点で次年度募集停止となっていることもあり、今後も部としての活動は、部員数や地域展開などの動向を見ながら、検討していくこととしています。

続いて、ソフトテニス部は令和7年5月より実証事業を開始しています。地域指導員登録は9名で、特徴的なこととして、9名のうち1名が市内小学校の教員が兼職兼業の指導員として可能な日は平日も指導をされています。

今後は試験的に休日における練習日において、顧問教諭無しで実証事業を行う予定とし、教員の更なる負担軽減に繋がることが期待されます。

続いて、女子バレーボール部は、令和6年12月より実証事業を開始しています。地域指導員登録は4名で、月1回以上、可能な限り複数人の指導員の出席を得て実証事業を行っています。

続いて、陸上部は令和7年4月より実証事業を開始しています。地域指導員登録は4名おり、休日の指導を行っています。

既に陸上部では顧問教諭無しでの練習日を設け、顧問教諭の完全休養日が設けられているほか、砂川高校陸上部と合同で練習を行い、高校の顧問教諭が生徒を指導する日があるなど、新しい取り組みを行っています。

続いて、バドミントン部は令和6年11月より実証事業を開始しています。地域指導員登録は3名で、開始来可能な限り休日の実証事業を行っており、令和7年度からは指導員が可能な日で平日の指導を行っていただいています。

今後については、委員へ相談させていただいた結果、陸上部と同じく、休日部活動について、顧問教諭無しでの練習日を設けるなど試験的に実施していくこととしています。

続いて、バスケットボール部は現在まで実証事業は行っていません。しかし、櫻田委員へ相談の結果、バスケット連盟の協力のもと、時期は未定ながら実証事業の開始を検討中とお話をいただいています。

バスケットボール部に関しては少年団もあり、令和6年度までは小学校の顧問教諭が指導を行っていましたが、顧問教諭の人事異動に伴う後任探しは、現在は見つかっていますが、大変難航したとのことで、指導員確保は厳しい状況であると伺っているところです。

続いて、卓球部は他の種目のように市内に連盟や協会、地域団体などが無く、実証事業は行っていません。

令和6年度末の時点で当時の1年生・現2年生が1名のみの所属状況から、令和7年度の新入生の入部状況によっては、次年度の部員募集停止としておりましたが、新入部員が8名入部したことにより、部員停止は一旦白紙となったところでもあります。こちらも野球部と同様に今後の所属人数などの動向を見ながら、地域展開に向けて、地域指導員を公募していくことなどを検討しています。

続いて、吹奏楽部は現在まで地域指導員が見つかっておらず実証事業は行っていません。毎年入部する部員も一定数いる状況であり、地域展開に向けては地域指導員の確保が課題であり、卓球部と同じく公募を検討したいと考えています。

続いて、科学部はそもそも休日の部活動は行っていませんが、現在の部員数や活動状況に鑑み、令和8年度以降の部員募集停止とする予定となったところです。

続いて、美術部は土日の活動は行っていませんので、実証事業は行っていません。今後平日の地域移行・地域展開を進めていくに当たっては指導員の確保が必要となるところです。進捗状況に係る説明は以上です。

会長

ただいま、各部活動における地域移行実証事業等進捗状況の説明がありました。資料1にあるとおり、現在4つの部活において実証事業を実行中であります。早く開始した部活では令和6年11月から開始と、もうすぐ1年といったところであります。

このことから、実証事業の実施状況や、気づいた点・問題のあった点・今後実施をしていくことなど、それぞれ今後の参考にするため情報共有を図りたいと考えています。資料1の表中の順番で実証事業を行っている4つにおいて、ご発言をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

委員

ソフトテニス連盟の部活動地域移行の実証事業の進捗状況について簡単に報告させていただきます。こちらの資料にございますとおり、令和7年の5月より実証事業を開始しており、基本的に土曜日の部活動がある日に連盟の方から指導員を派遣しているような状況です。顧問教諭の方から毎月1カ月のスケジュールをもらいまして、こちらの方で指導員を調整して派遣しているような状況です。部活動については現状、休みの日は顧問教諭が主導で指導していただいて、我々は生徒の練習相手だったり、試合の相手だったり、技術的な部分のサポートをさせてもらっているような状況です。顧問教諭と日頃、コミュニケーション取れているので地域指導員のみでの指導というのも今後必要があれば行っていければと話をしている状況です。顧問教諭の完全休養日というのは設けられていない状況ですが、生徒の技術的なサポートという部分では一定の効果はあると考えています。

委員

バレーボール協会は4名の指導員で月1回ぐらいの活動をしております。4名とも仕事をもっておりますので、活動の軸は休日ということになっております。今回資料1にもありますとおり、1年生が非常に多く入部したという数字が載っております。ただ初心者に近い部員が結構いるものですから、練習の効率を上げるために初心者の方を指導員の方で担当し、顧問教諭がいわゆる大会に出場するチームの指導を展開するということを行っていたり、また大会や、元全日本の選手がコーチングに来てくれた時には指示の下でボール出しをしたり、子どもたちに技術の指導を行うという展開をしています。こちらの想いが、やはり中学生によく伝わっていきまして、バレーボール協会で大大会を開くにあたっては中学生が大会の補助員を手伝ってくれるという関係性まで、関係ができております。

委員

陸上協会です。資料に書いてあるとおりに進めてきたのですが、今ようやくシーズンが終わったというところで、これまで大体土曜日には大会が入っていて、なかなかやれない、思ったほどできなかったというのがありますが、それでも1回7月に、9月にもやる予定でしたが、クマが出てちょっとできなかったというのがあって、1回でしたがその時は先生方が完全にいなくて出来たということで、ただその時心配したのが、顧問がいなかったときに子どもたちがどういようなことを思うかと心配しましたが、顧問に話を聞いたところ「別になにも気にしていなかった」ということだったので、それはすごく良かったと思っています。あと、部活動の予定をもらったときに、顧問と話をし、一応原則は土曜日ですが、祝日等も一つ一つ確かめながら参加させてもらっているということと、高校の陸上部が陸上競技場でやると高校の先生方が中学生も同じように指導してもらっているということがあって平日はそういうところもよいのかなと思っています。またこれから、慣れてくれば顧問と打ち合わせをして、土曜日については受け持つことができるのかなというふうに思っているところです。そんなところでまた冬に向けてこの後も打ち合わせを密にしながら、やっていって学校と子どもたちとの人間関係を築いていかなければと思っているところです。今のところうまくいっているんじゃないのかというふうに思っているところです。

委員

あすなろです。活動の内容ですが、資料に記載されているとおり、主に土曜日を中心に部活動に参加させていただいて、都合の良い日、行けるときには平日も参加しているという状態で進めてきました。主に活動の内容に関しては、顧問の先生とすり合わせをちゃんとして、練習メニューとかは顧問の先生が考えていただいた内容でそれに沿った形で技術的なサポートをしているというような形で進めています。あとは大会等の引率の子どもたちへのバックアップというような形をとっています。今年に関しては、中学校に入ってから始めた子が多いので、基礎的なことを中心に指導してきました。

会長

4名の委員の皆様、貴重な情報大変ありがとうございました。以上4つの種目において先行して実証事業を行ったうえで色々なお話を伺うことができました。

それでは、先程の事務局から説明のあった進捗状況を含め、実証事業を行っている相互の委員へのご質問・ちょっと聞いてみたいことなどでも構いません。せっかくの機会ですのでご質問等あれば、この場で発言いただければと思います。ご質問等ございませんか。

委員

砂川プラススタイル実行委員会です。今ほど4団体の皆様からすばらしい取り組みのご紹介いただきましてありがとうございます。皆様の説明というより事務局の説明について一言コメントさせていただきたいと思います。資料の吹奏楽部のところで最終的に地域指導員を公募していくという記述がございました。私も実行委員会としましてこれまでこの協議会に参加させていただいて、また今回議案の提示を受けまして改めて団体の中でなにかできることはないかということで検討させていただいたところでございます。先ほど事務局からも説明ございましたけれども、現在の砂川市内の吹奏楽部の部活動につきましては、私どもが把握している範囲ではございますけれども、先日砂川小学校が吹奏楽コンクールで空知地区予選を突破しまして、空知の代表として全道大会において活躍されていますし、先日市内の行事で砂川中学校も行事の中で日ごろの成果を公表されていて、私どもも共演をさせていただいたところですけども、このような形で子どもたちや担当教員の皆様、保護者の皆様の努力もあって、その成果が出ていて、現状の体制においてできる限りの活動をされていると思っております。そこで私どもは地域指導員などの受け皿となった場合、私どもは吹奏楽というよりはジャズとか別のジャンルであることや、今の吹奏楽コンクールへの取り組みへの考え方など、色々調整が必要となることが多いものですから、なかなか今ほど申し上げた現状の吹奏楽部の活動の質や量を確保する見込みが難しく、直ちにお引き受けするのは難しいと考えております。一方で地域移行改め地域展開ということで期間が5年程度伸びるということで伺っております。そうなりますと、義務教育学校になることも含めて現在の状況が変動する要素が多々あるのではないかなというふうに考えております。そのような中で、これまで私ども市外・市内各学校などの部活動、吹奏楽部と私どもの子どもたちのための様々な事業を学校並びに教育委員会のご理解ご協力を得まして、おかげさまで13年ほどやってまいりましたが、この期間の中、令和13年までの中で、条件が整った場合につきましては、地域展開の関与につきまして取り組むことを考えていきたいと考えているところであります。本日の状況としては、期間内の取り組みを確約できる状況ではないですけども、今後機会がありましたら、今ほど4団体の皆様からすばらしい内容を紹介いただきまして、これらを参考にしまして行きたいなというふうに考えておりますので、ご報告申し上げます。

事務局

地域移行に向けましてはこれまで、各連盟や協会、市の競技団体等に所属している、検討協議会の委員の皆様のご協力のもと、4つの種目で実証事業に至るまで進んできたところでありますことから、同様にプラススタイルさんにご協力をいただけるというお話は非常にありがたいお話であります。

今のお話ですと、プラススタイルさんに所属の方々の仕事の都合などにより、具体的な開始時期は未定ということであると思っております。

このことに関しては、後ほど説明いたしますが、令和8年度以降は改めて「地域展開」を目指していくこととなりますが、その期間は令和13年度までの6年間とそれなりの期間がございますので、その期間の中で、可能なタイミングよりご協力を開始いただければ幸いです。

また、吹奏楽部に関して、先程の説明では、これまで地域指導者が見つかっていなかったこともあり、次年度以降、指導者を公募していくと説明しておりましたが、今ありがたいお話をいただきましたので、吹奏楽部に関しての公募は一旦見合わせたいと考えます。

会長

4名の委員の皆様、実証事業を行って初めての貴重な経験談、大変ありがとうございました。これから行う種目などへの参考になればというふうに思います。

事務局

②地域移行から地域展開への名称等変更に係る概要について

資料2となります。こちらの資料は令和7年5月16日に開かれた「スポーツ庁と文化庁の有識者会議である地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」において取りまとめられたものになります。

これまで、令和4年12月に示された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づき、令和7年度までに休日部活動の地域移行を目指すと言われてきましたが、1枚目（3）地域全体で連携して行う取組の名称にありますとおり、令和8年度以降は名称も「地域展開」に代わり、資料の2枚目、「3、今後の改革の方向性」に記載がありますが、次期改革期間である令和13年度までの6か年の間に全ての部活動で休日部活動の「地域展開」を目指していくことになります。では、地域展開とは結局どういうものなのか。ということですが、地域展開は、これまで「学校部活動」として学校が担ってきた活動を、「地域の子どもたちは地域で育てる」という考え方の下、地域の人材を活用した部活動を行う「地域連携」、そして、部活動そのものを地域の団体や事業者にも担ってもらう「地域移行」など、地域の実情に応じ、持続可能で多様なスポーツ・文化芸術活動の環境を「地域部活動」として整備していくこととなります。

地域部活動では、部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要とされ、この新たな価値とは、多種多様な体験・学校等の垣根を超えた繋がり、継続的な活動などとされております。

これらを踏まえ、本市としては、これまで各連盟・協議会・地域団体の皆様の協力のもと、地域移行実証事業を4種目行うことができておりますが、この4種目では、可能な範囲での平日の指導の推進や、休日等では顧問教諭無しでの指導日を設けるなどの試験的な実証事業を進めていく、また、実証事業に着手できていない種目も次期改革期間内に、順次着手していくことを、目標としていきたいと考えております。説明は以上です。

5. 協議事項

- ・令和8年度以降の地域指導員に係る謝礼等について

【議事の内容（要旨）】

- 事務局
- ・令和8年度以降の地域指導員に係る謝礼等について
- 資料3となります。沿革の前段は先程の報告事項・概要説明で説明したものと重複しますので割愛させていただきますが、資料中段ほどから記載しておりますが、これまでの実証事業を行ってきたことに際しては、国費を財源とした北海道と締結しているスポーツクラブ活動体制整備委託事業を一部財源とし、実証事業に携わっていただいている地域の指導員の皆様へ、謝礼及び費用弁償をお支払いしてきております。
- 令和8年度より改めて「地域展開」を目指していくこととなりますが、今後進めていくにあたり、地域指導員の皆様に係る負担・責任を鑑みますと、謝礼等は非常に重要であると考えております。
- 事務局としては、これまで一部、元手としてきた道委託費やこれに代わる補助金などは現時点では不透明ではあるものの、当面の間はこれまでの謝礼等の継続は必要と考えており、市への予算を要求していくにあたり、改めて検討協議会にてご協議いただきたいというものであります。なお、下段部分にこれまでの令和7年度まで及び8年度以降の当面の事務局案を掲載しているものであります。
- 補足として、大会への引率は、これまでと同様に部活の顧問教諭で行っていただきますが、空知管内など比較的近隣で行われる大会などへの引率を希望される場合は、日頃から指導をいただいていることもありますので、別途ご相談いただき、なるべく対応していきたいと考えております。
- 説明は以上となりますのでご協議ほどよろしくお願いいたします。
- 会長
- ただ今の説明について、ご質問やご意見ございませんか。
- 無いようですので、先程事務局より提案のありましたとおり進めさせていただくということでよろしくお願いいたします。

6. その他

【議事の内容（要旨）】

- 会長
- それでは、議題の6. その他、委員の皆様から何かございますか。
- 委員
- 砂川中学校校長と申します。今年の4月から砂川中学校の方にお世話になっております。まず初めに、本校の生徒に関わって教育活動等への温かいご支援ご協力に心よりありがとうございます。また、昨年度から始まりました実証事業に関わってできる種目から取り組みを進めていくというような部分で、4つの種目の地域移行、展開へのご協力、本当にありがとうございます。冒頭、事務局からございましたとおり、受け皿となる団体の有無や指導に当たられる方の確保と種目によって課題は残されていると思いますけども、少なくともまず4つの種目において実証事業が取り組まれていることについて厚くお礼申し上げたいと思いま

す。学校の方につきましては、今週末に閉校記念式典を行い、砂川中学校の歴史に一つ区切りをつける形となります。また来年の4月からは、市内の小学校と中学校が一つになる義務教育学校砂川学園ということで、新しい一步を踏み出すというような時期に入ってきています。そうした中、学校の教職員につきましては、砂川学園での教育活動の推進ですとか、また日常の授業と諸々の業務を抱えながら部活動も砂中の教員、精一杯全力で取り組んでいるところです。校長としては、学校でなるべく教職員が心身の健康を保ちながら、日常の教育活動にもフレッシュな状態で向き合って、子どもたちと日々過ごしていける環境を作っていくことが、重要なことという風に考えているところです。そういった観点から、まだ種目による濃淡は残っているかとは思いますが、1種目2種目と実証事業に移行できる種目が増え、また既に実証事業を開始している部活動については、土曜日、まずは休日が教員の手から離れた形で子どもたちが元気に活動でき、教員が自主的な研修や、修養できるような時間がしっかりと確保できるようになっていくと砂川学園での教育の充実にもつながっていくものと考えておりますので、引き続きこの部活の地域展開へのご理解ご協力をお願い申し上げます、一言これまでのお礼とこれからのお願いということでご挨拶申し上げたいと思います。

会長 その他、事務局の方から何かあればお願いいたします。

事務局 1点ございまして、次回以降の検討協議会は、地域展開に係り国から示される方針等があれば必要に応じて開催させていただきたいと思います。また、地域展開を進めていくうえで、情報共有等は定期的に行っていくこととしたいと考えますので、時期は未定ですが、開催案内をさせていただきたいと考えています。

会長 別途会議を開催する時は事務局の方からまた改めてご案内をいただくということでございます。

それでは全体を通して、皆さんの方からなにかありますか。

無いようですので、本日の日程は全て終了いたしました。本日は既に実証事業を行っている4団体の貴重なお話や、新たな地域展開を進めるうえで、令和8年度以降の当面の指導員謝礼等の方向性について検討いたしました。

本日の説明事項や地域展開に係り気づいた点・気になった点等がございましたら、後日でも事務局へお問い合わせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上で本日の検討協議会は終了とします。

皆様、大変ご苦勞様でした。

以 上